

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	生産加工学特論第三		
英文授業科目名	Advanced Technology and Engineering of Mechanical Working 2		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-機械制御工学専攻-選択科目		
開講学科・専攻	機械制御工学専攻		
担当教官名	村田 眞		
居室	東4-502		

公開E-Mail	授業関連Webページ
murata@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
製品が生み出される動機やその背景について考え、それが経済に与える影響について学ぶ。また、その製品を製造するための選択すべきいくつかの加工法を取り上げ、その長短について検討する能力を養う。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
加工学および加工機全般

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>						
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">塑性加工技術シリーズ</td> <td style="width: 33%;">(社)日本塑性加工学会編</td> <td style="width: 33%;">コロナ社</td> </tr> <tr> <td>自動車軽量化のための生産技術</td> <td>(社)軽金属学会編</td> <td>日刊工業新聞社</td> </tr> </table>	塑性加工技術シリーズ	(社)日本塑性加工学会編	コロナ社	自動車軽量化のための生産技術	(社)軽金属学会編	日刊工業新聞社
塑性加工技術シリーズ	(社)日本塑性加工学会編	コロナ社				
自動車軽量化のための生産技術	(社)軽金属学会編	日刊工業新聞社				

<b>【授業内容とその進め方】</b>
数種類の製品を取り上げ、その製品がどのような加工法によって作られており、どのような工夫がされているかについて討論をしながら進める。また、コストや経済に与える影響についても考察する。

<b>【成績評価方法および評価基準】</b>
授業の討論における内容と積極性。課題に対するレポートの内容。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

毎週月曜日 16時から17時30分

### 【学生へのメッセージ】

製品は、技術者の汗と涙と努力の結晶である。その製品がどのような加工法によって作られ、どのような努力と工夫がなされているかを考えてほしい。また、製品に対するコスト意識を持つことが大切である。